

# Maxsil 230

低温硬化型透明絶縁膜コーティング液

## 特長

- 120-150℃という低温で硬化可能
- 優れた透明性（98%以上）
- 優れた絶縁性
- 優れた耐薬品性
- ITO, Mo, ガラスとの強固な密着
- 低温(120～150℃)プロセッシング可能
- ハードコートとしても使える硬度(4H)

## 応用例

- 先進タッチスクリーンパネル（G2, On-Cell, In-Cell）製造用 ITO 層間絶縁膜(OG1), カバーコート(OG2)
- LCD/OLED 用 TFT アレイの平坦化絶縁保護膜

## 使用方法【推奨条件】

基板洗浄→塗布（スピコート/スリットコート）→プリベーク(80℃ x1 min)→キュアベーク(140℃ x30 min, 大気中)

## 特性表

主溶剤	PGMEA	密着性	ガラス	5B (100%剥がれ無)
固形分量	10～40 wt% (調節可)		ITO	5B (100%剥がれ無)
薬液寿命	3ヶ月 (4℃保存)		Mo	5B (100%剥がれ無)
粘度(20℃)	～3 mPa·s (30 wt%品)	薬液耐性	アセトン	変化なし
最大膜厚	3 μm		N300; 80℃	< +5% (僅かに膨潤)
屈折率	1.50 (typ.) @ 550 nm		TOK106; 60℃	< +5% (僅かに膨潤)
透過率	98～100% (400～800 nm)		PAN; 45℃	< +3% (僅かに膨潤)
鉛筆硬度	3～4H (750 g 荷重)		3.5% 蔞酸; 35℃	< +1% (僅かに膨潤)
リーク電流密度	～50 nA/cm <sup>2</sup> @1 MV/cm	耐候性	2.38%TMAH; 20℃	< +1% (僅かに膨潤)
絶縁耐圧(電界強度)	～2 MV/cm @ 1 μA		80℃ 300h	合格
比抵抗	> 10 <sup>12</sup> Ω·cm		60℃ 90% 240h	合格

## 開発・製造元

マックス電子材料株式会社